

明和町地域公共交通計画 概要版

(令和 6 年 6 月)

■ 地域公共交通とは

「明和町地域公共交通計画」は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の第 5 条に基づき作成する、明和町の全ての公共交通のマスタープランです。本計画は「明和町総合計画」に即するとともに、明和町が定める「明和町都市計画マスタープラン」等の関連計画と整合を図ります。事業者や町民と協働での各種取組を進め、公共交通サービスの維持とともに、より暮らしやすいまちの実現を目指します。

計画区域：明和町全域

計画期間：令和 6(2024)年度～令和 12(2030)年度の 7 年間

■ 明和町の地域公共交通を取り巻く課題

明和町の公共交通には、主に以下のような課題があります。

- 小学校区再編に関連したスクールバス導入を目指しています。
- 周辺自治体と共同で「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、公共交通の維持・活性化など、環境への負荷を低減することを目指しています。
- 人口減少・少子高齢化の進行が想定されます。高齢化の進行により免許返納者の増加が見込まれます。
- チョイソコ（デマンド型交通）は集落間、町民バスは拠点間の移動がそれぞれ多いなど、交通サービスにより移動に特徴があります。
- 自家用車利用が多く、町民バスやデマンド型交通の利用割合は低くなっています。
- 住民アンケートでは、町民バスの重点改善項目（重要度が高い一方で満足度が低い）は、バス停位置、経路・ルート、ダイヤ、便数となっています。
- 住民アンケートでは、デマンド型交通のようなサービスにより外出頻度が増えると考えています。
- デマンド型交通の利用者を増やすためには、啓発活動や運行台数増等が必要です。
- 町民バスやデマンド型交通の運行事業者では、運転手不足等の人材不足が発生しています。また、運転手などの労働環境の改善が必要です。
- 多数ある交通サービスについて、共存しつつ効率の良いサービス提供が必要です。

■ 地域公共交通の基本方針

日々変化する役割に対応しながら、暮らしやすい・持続可能なまちづくりに寄与していくため、本計画の将来像を下記の通り定めます。

利便性と持続可能性を両立した 公共交通サービスの提供による、暮らしやすいまち

地域公共交通の将来像の実現に向けて、3つの基本方針を下記の通り定めます。

基本方針 1 利用しやすい公共交通サービスを目指します

基本方針 2 持続可能な公共交通サービスを目指します

基本方針 3 まちづくりと一体的な公共交通サービスを目指します
(集約型都市構造の実現)

本計画で目指す公共交通ネットワークのイメージを以下に示します。また、各公共交通サービスを以下の通り体系的に整理し、輸送資源を総動員しつつ効率的に活用することで、持続可能な地域公共交通を目指します。

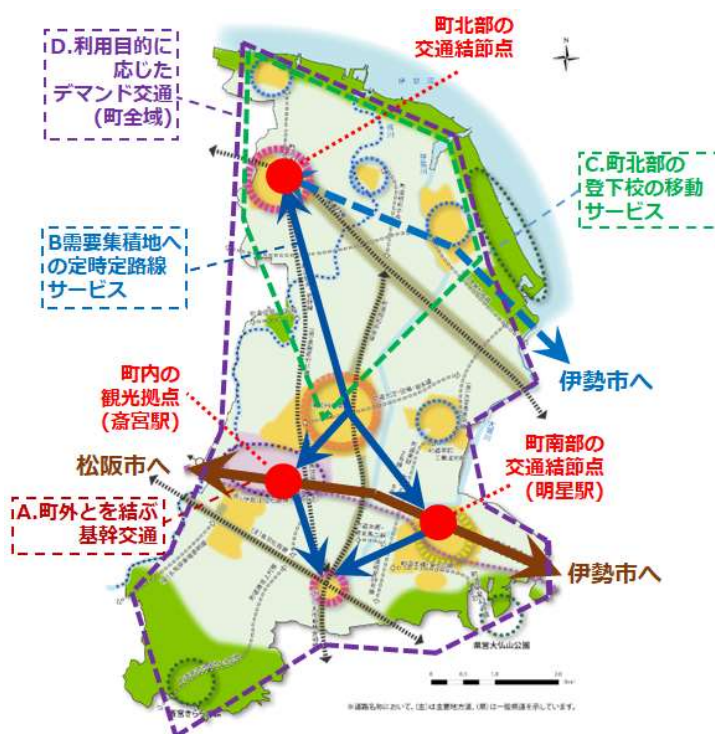
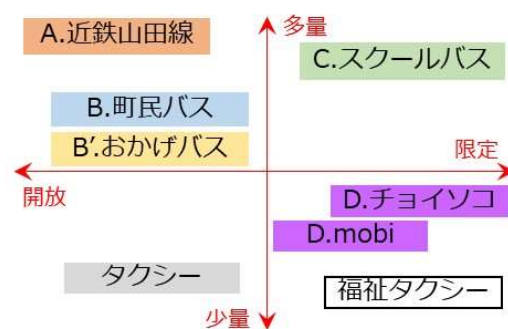


図 公共交通ネットワークのイメージ



A.町外とを結ぶ基幹交通(近鉄山田線)
B.需要集積地への定時定路線バス(町民バス)
(伊勢市のおかげバスも含む)
C.登下校の移動サービス(スクールバス)
D.利用目的に応じたデマンド型交通

図 明和町の公共交通の役割

■ 目標及び目標を達成するための事業

目標及び目標を達成するための事業を、以下のとおり定めます。

目標① サービスの改善・充実・認知による利用者数の確保

目標② 生活に最低限必要な移動手段の確保

目標③ サービス水準向上による利用者満足度の向上

事業1-1	町民バスの再編を中心とした交通体系の再構築	目標①③に対応
事業1-2	デマンド型交通の継続運行	目標①②③に対応
事業1-3	近隣自治体との連携(コミュニティバス乗り入れ及びデマンド型交通相互乗り入れ)	目標①③に対応
事業1-4	小学校統合に伴うスクールバスの運行	目標②に対応
事業1-5	サイクルトレインの継続実施	目標①③に対応
事業1-6	デマンド型交通における割引制度の実施	目標①②に対応
事業1-7	デマンド型交通登録会員への情報発信	目標①に対応
事業1-8	デマンド型交通の使い方教室開催	目標①②に対応
事業1-9	利用促進イベントの開催	目標①に対応

目標④ かしこい投資と効果の最大化による持続可能な公共交通サービスの実現

目標⑤ 町民の公共交通に対する意識の向上

目標⑥ 二酸化炭素排出量削減等による環境負荷の軽減

事業2-1	デマンド型交通の運営最適化	目標④に対応
事業2-2	デマンド型交通車両を用いた荷物輸送	目標④に対応
事業2-3	エリアスポンサーの募集	目標④に対応
事業2-4	町民に対する継続的なニーズ把握	目標⑤に対応
事業2-5	バス運行に関する適切な情報公開	目標④⑤に対応
事業2-6	小中学生向けの啓発活動の実施	目標⑤⑥に対応
事業2-7	高齢者の運転免許返納促進及び返納者に対する支援	目標⑤に対応
事業2-8	交通分野の環境負荷軽減に関する情報発信	目標⑤⑥に対応
事業2-9	環境負荷の小さいバス車両の導入	目標⑥に対応
事業2-10	新たな交通手段の調査・研究	目標④に対応

目標⑦ 拠点・軸を踏まえた公共交通ネットワークの形成

目標⑧ 拠点における交通結節点機能の強化

目標⑨ 観光交流人口の増加

事業3-1	まちづくりと連携した町民バスの再編	目標⑦に対応
事業3-2	鉄道駅における交通結節点機能の強化	目標⑧に対応
事業3-3	商業拠点における交通結節点機能の強化	目標⑦に対応
事業3-4	伊勢市おかげバスの商業拠点への延伸	目標⑦⑧に対応
事業3-5	斎宮駅を拠点としたレンタサイクルの充実	目標⑧⑨に対応
事業3-6	観光利用促進のためのイベント開催	目標⑨に対応

■ 計画の進捗管理

- 本計画を着実に推進するために、町と事業者、町民をはじめとする多様な関係者が協働・連携しながら、計画の立案（Plan）・事業の実施（Do）・実行状況の評価（Check）・改善（Action）のPDCAサイクルを繰り返し実施し、地域公共交通を確保・維持・改善していきます。
- 個別事業・運行の進捗管理については毎年度実施し、達成状況を「明和町地域公共交通協議会」等にて評価・検証したうえで、必要に応じて事業の見直し等を図ります。
- 計画の最終年度には、事業や目標（評価指標）の達成状況の評価・検証をとりまとめ、社会情勢や町民ニーズ等を適切に把握しながら、本計画の見直しに向けた検討に取り組めます。
- 本計画策定後、より多くの人々に利用される交通体系及び交通環境を整えた結果の有効性を把握するため、目標の達成度を測定するための数値目標を以下のとおり設定します。

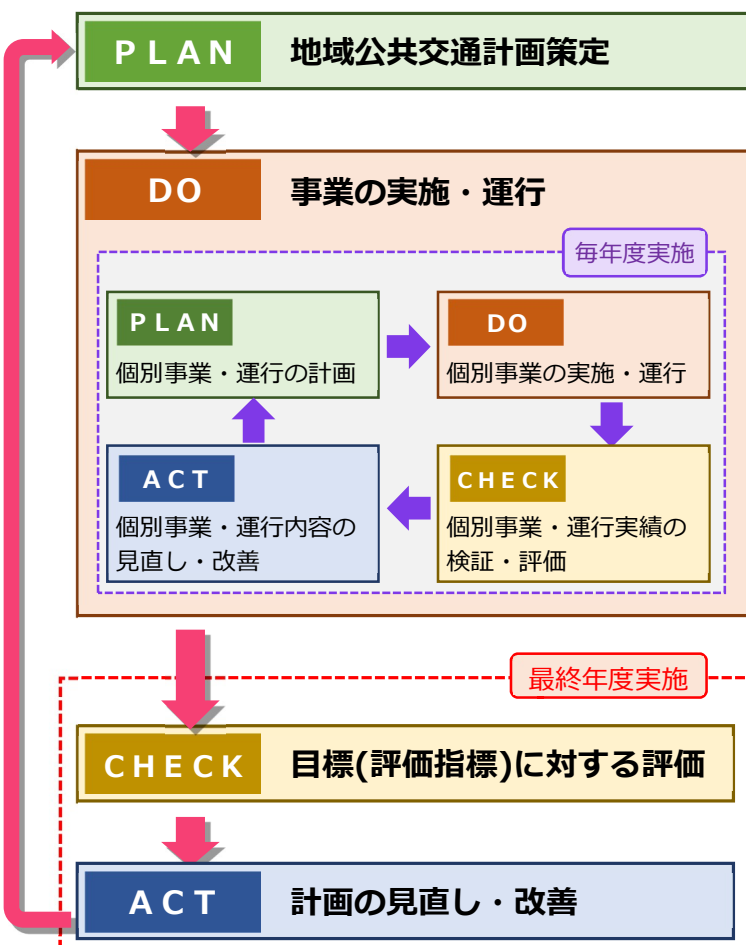


図 PDCA サイクルに基づく進捗管理イメージ

表 本計画で定める数値目標

数値目標項目	令和 12 年度の 目標値	対応する 目標
斎宮駅及び明星駅の利用回数	1,600 人/日	目標①
町民の公共交通利用回数	4.4 回/人	目標①
公共交通の利便性	満足度の数値「0.00」	目標③
町民バス 1 便あたり利用者数	3.2 人/便	目標④
デマンド型交通 1 区間あたり利用者数	1.5 人/区間	目標④
高齢者の運転免許返納者数	100 人/年	目標⑤